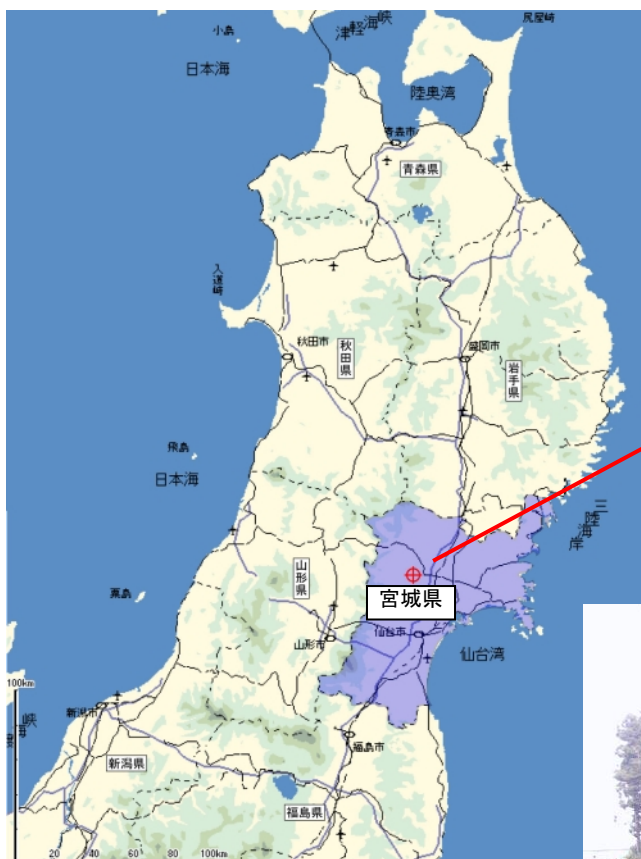


## 41 宮城県 加美町

### 宮崎東部地区集落農業排水路

水源	導水方法			導水箇所	水環境上の問題
河川水	新規水路	既設水路	自然流下	河川・水路	生態系悪影響



※地図中の破線枠は次ページの地図範囲



対象地域の概要

・地域の概要

加美町は、宮城県北西部の町で平成 15 年 4 月 1 日、中新田町、小野田町、宮崎町が合併し「加美町」となりました。  
人口：28,330 人、世帯数 7,783 世帯、面積：460.82km<sup>2</sup>。

・対象水域の概要

集落水路構想の検討場所（対象地域の地図の赤丸印）は、宮城県北西部、加美町にあり、北の田川と南の鳴瀬川の合流地に接する宮崎東部地区にある、高田地区と沼ヶ袋地区の2つの集落を流れる水路です。



## 対象地域の概要

・水環境上の問題：水質悪化・悪臭、生態系悪影響、親水性・景観

当地区では、「生き物環境に配慮した水環境での水路整備」と整備後の環境水路の活用と維持管理を住民の参画で行いました。

当初は地域住民と改良区は生き物の保全より維持管理の効率化を望んでいました。そこへ、法律の改正により生き物への配慮が求められることになったため、県からの提案により生き物への配慮を考慮に入れた整備を進めることになりました。

水環境上の問題としては、ほ場整備時に水供給が遮断されることで生き物が流末から川へ出てしまい、その生き物の多様性復元まではできていないこと、ほ場整備後は水路断面が縮小し流路水系も一部変更し、かつての水量は確保できないことがあります。また沼ヶ袋地区では生活排水も流入し水質の本質的な改善が必要なことなどが上げられます。

<水位変動>

当地区では、河川水の取水で自然流下のため水位変動はあまりありません。春先の代掻き時期は水田での水利用時に水位低下及び最近は断水が見られます。

<水質悪化・悪臭>

水質は、生活排水の流入による悪化が見られますが、野菜や農機具等の洗い場としての利用に供する程度の水質は確保できています。

今後、生活排水改善による水質の改善が期待されますが、下水道事業や合併浄化槽事業が導入される計画はないため、水質が大きく向上する見込みは立っていません。

<生態系への悪影響>

ほ場整備で排水路が田面より低くなったため、水田で産卵するナマズなどの生き物にとって影響が生じていると思われる。しかし絶滅危惧種のギバチ（地元名ギンギョ）や飛来するカワセミ、ホタルなどが生き物調査で発見されるなど多様な生息環境が残っていると推定され、まだまだ生態的に潜在的な可能性を秘めた水系です。

その水系で残された集落の農業排水路は、土水路であり生き物が生息しやすい環境にあることからそれに配慮した水路整備が課題となりました。

<親水性・景観>

集落の水路は、かつて農具や野菜の洗い場があり、水路は子どもの遊び場だったことから親水性に優れています。

上流の沼ヶ袋地区集落水路は、ホタルが飛びかい、ギバチが生息し、石垣や橋がかかって景観的にも絵になる水路です。下流の高田地区集落水路は、住宅裏の屋敷林の中を水路が走り、カワセミが飛来していた。また自作の板の橋や洗い場がなんとも自然な趣が有って景観的に素晴らしいものでした。正月には束帯を洗い場脇に刺し祈りを上げるという風習も景観的な価値を有しています。

<その他>

構造的な問題は、子どもが少なくなっかつてのように水路で遊ぶことができなく、兼業農家で水路の維持管理も簡略化できる機能性のみコンクリート水路が尊重されるようになってきていることから、手間のかかる環境配慮型の水路の存在価値をどこに求めるかが課題となっています。



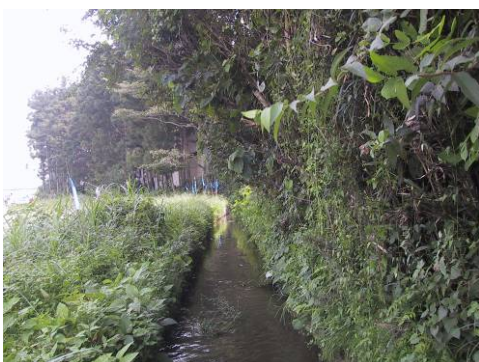
NPOとの協働	今後の課題	<p>ワークショップ型事業は時間とコスト面で課題が残ります。</p> <p>農業水路のもつ多機能として、生産に絡む用排水機能、防火や流雪機能、洗い物などの利用機能、生き物の環境機能、子どもの環境学習機能、水路端の交流機能、風習を含む景観的な機能などの評価がなされています。</p> <p>かつてあった機能が効率化、簡便化、生産に直接効果のある経済価値優先により単機能水路になっていました。その既存の水路を再度、生活の豊かさを見直す場、子ども達の総合的学習の場、コミュ</p>
	今後の課題	<p>二テ交流による相互扶助の再構築の場、生き物を愛でる、楽しむ心の場などで再評価することによって可能になることを、この宮崎東部地区水路づくりは示しています。</p> <p>本地域は、「周辺の地域と比べて環境へ水路の特徴もあまりない地域である」、と地域住民、役場、県、改良区が思っていた場所です。この特徴のあまりないと思っている場所に住民参加型の事業を3年かけて導入したことにより、現在は宮城県内では先進事例の一つと言われるようになりました。また、今回の事業の導入がきっかけとなり、平成18年度新規採択農地・水・農村環境保全向上活動支援実験事業へ改良区が中心となり採択へ向けた名乗りを上げる予定になっています。</p> <p>何の特徴もない地域とっていて、一歩踏み出せないでいる地域への参考事例になると考えます。</p>
リ及資料 ンび料 グヒア 先提供		<p>加美西部土地改良区（ヒアリング先）</p> <p>大崎地方振興事務所（資料提供）</p> <p>NPO 法人東北まちづくり協議会（ヒアリング先、現在は解散）</p>
参考 エ ト		<p>宮城県：宮崎東部地区集落排水路整備におけるワークショップの開催  <a href="http://www.pref.miyagi.jp/ossgrsin/nn/nnd_h16_006.html">http://www.pref.miyagi.jp/ossgrsin/nn/nnd_h16_006.html</a></p> <p>宮城県：生き生き水路再生物語  <a href="http://www.pref.miyagi.jp/ossgrsin/nn/pdf/panfuomote.pdf">http://www.pref.miyagi.jp/ossgrsin/nn/pdf/panfuomote.pdf</a></p>



圃場整備前



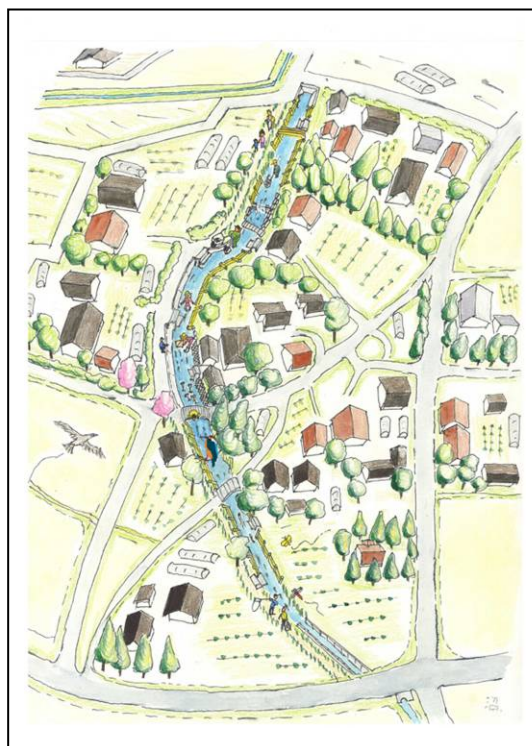
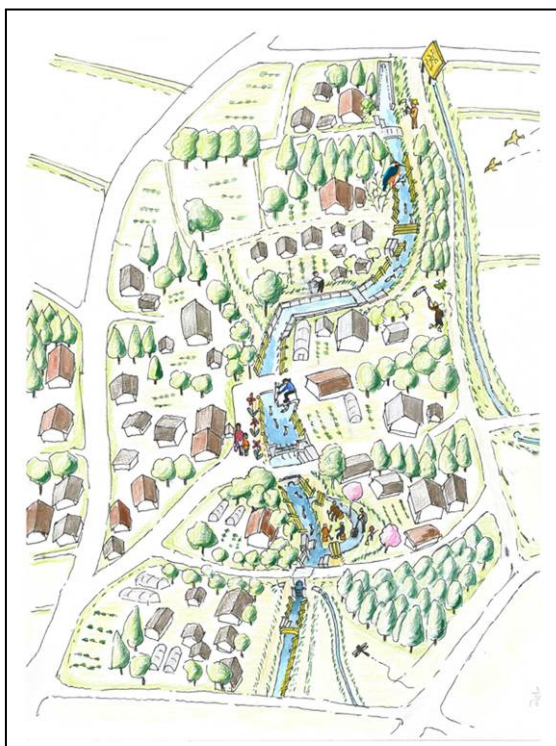
圃場整備後



整備前の水路の様子



整備実施中の水路



整備イメージイラスト：平成17年度に工事完了予定。現在実施中。

【参考写真】





生き物調査の様子



ワークショップの様子



小学校の総合学習と連携した生き物引っ越し大作戦





環境に配慮した水路事業着手手前状況